

□ 要請番号 (JL04516B19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G121 バレーボール		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・文化・科学・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

モンゴルバレーボール協会
NGO

3) 任地 (ウランバートル) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同協会は、モンゴル国内のバレーボールの発展と普及を目的に1957年に設立された。モンゴル国バレーボール界を統轄し代表する団体として、バレーボール競技の普及及び振興を図り、青少年の健全な育成に寄与し、国内大会を主催することを目的としている。年間予算は約2,700万円。初代JV1名(バレーボール)が2016年7月に任期を終了した。職員内訳は主事1名、協会講師2名、対外担当者1名の合計4名。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モンゴル国ではバレーボールの人气が高く、競技人口は年々増加しているが、選手の発掘・育成のために、指導者の資質向上と指導カリキュラムの刷新を推進する必要がある。現在、初代のボランティア(2016年7月任期終了)の活動内容は、ウランバートル市第1学校の生徒(12-18歳)に授業を教えながら、年に一回の国際大会の参加に向けてナショナルチームの主任コーチを補佐している。しかしながら、小中高等学校のバレーボールコーチを対象として指導者養成講習会を開催できる協会講師が2名しかいないため、2代目のボランティアは協会講師と共に指導者養成講習会を開催することも求められている。バレーボール競技の発展、レベルを向上させるため、更に指導経験豊富なボランティアの派遣が望まれていることから後任要請があげられた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 小中高等学校の監督を対象として協会講師と協同して指導者養成講習会を開催する。
 - 現代のバレーボール競技の方針、取り組みについて、私立国立合わせて6つある体育大学の学生を対象に紹介をする。(年に一回程度でバレーボール協会スタッフとしての紹介となる。)
 - 男子ナショナルチームの強化、総合的な技術レベル、チームプレー、マナーの向上を図る。(男子ナショナルチームのレベルはアジア大会4位)
 - 可能な範囲で選手のコンディショニング、怪我の予防、怪我からの復帰に関するアドバイスをを行う。
- ※実際の活動内容は、着任後配属先と協議し決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体育館(バレーボール協会所有の体育館は無し)、バレーボール用具一式

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚職員4名 (協会講師2名、平均年齢40代)

男子ナショナルチーム30名 (平均年齢19歳)

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：同僚の教育水準と合わせる

[性別]： () 備考：

[経験]： (指導経験) 5年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (ステップ気候) 気温： (-30～30℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】